

山武地域における地域医療連携推進に向けた意見交換会 開催結果について

千葉県 健康福祉部 健康福祉政策課 政策室

電話番号：043-223-2609 メール：khseisaku@mz.pref.chiba.lg.jp

開催概要

会議名

山武地域における地域医療連携推進に向けた意見交換会

開催趣旨

昨年度の山武地域部会における構成員からの提案を踏まえ、今後の山武地域における医療連携の更なる推進を図るため開催したもの。

日時

令和8年2月12日（木）午後4時55分～6時20分

場所

山武合同庁舎 大会議室

出席者

- ・ 山武地域の市町長
- ・ 千葉県議会議員（山武地域選出）
- ・ 千葉県（保健医療担当部長 ほか）

議題

- (1)山武地域における医療連携について
- (2)その他

出席者からの主な意見

■ 山武地域における医療連携について

- 首長にとって病院問題は大きな話だが、病院を作って毎年赤字なのであれば、市町がタクシー代を負担し、住民に近隣の病院へ通院してもらった方が効果的なのではないか。
- 郡内市町や県には、赤字補填という観点ではなく、東千葉メディカルセンターが持つ広域的な高度救急医療、政策医療を担う特性に着目いただき、政策医療の受益として支援をお願いしたい。
- 東千葉メディカルセンターは、毎年10億円の赤字により、債務超過が危惧されている。今後、数年のうちに資金が枯渇し、病院経営ができなくなることが予想される。仮に郡内から政策医療への支援が叶っても、10億円単位の支援は厳しい。したがって、資金の枯渇を防ぐため、県に支援をお願いすることが最善の策ではないかと思っている。この地域に欠くことのできない病院であり、維持・存続のために勘案してほしい。

■ 地域医療連携推進法人について

- 仮に山武郡市から地域医療連携の渦が大きくなって、県全体が一つの医療法人になったら、すごいこと（良いこと）になるのでは。そのような前向きな気持ちでやらないと、この難局はクリアできないのでは。
- 地域医療連携推進法人をやったほうが良い。その際、長生や夷隅をどうするか。実際に患者も行き来している。山武地域は医師が足りないので融通もできず、お金もない。医療資源がない中、山武地域内だけで連携しようとしても限界があるのでは。
- 地域医療連携推進法人は良いことだと思うが、デメリットも相当あるのでは。